

倉敷における協働環境白書



相対的に後退した*倉敷市の協働環境の実態と、全国の中核市10市の事例から得た今後のヒント

*平成25年度 岡山県協働環境調査(岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」実施)で、倉敷市の合計得点は2009年の77点から2013年の48点と29点(38%)下がった。

勉強会出前します!

全容を掴みにくい白書の要点をコンパクトに解説します!お問い合わせ下さい!!

■倉敷市の10年をふりかえるー市民活動推進課の予算10年年表より

- 1、「拠点」の管理運営に3/4ー11億7,303万円(74.2%)
- 2、「資金支援」は2割ー3億3,123万円(21.6%)
- 3、パートナーと共に育つ仕掛け「人材・組織育成」ー6,002万円(3.8%)
- 4、「情報の収集・編集と発信」は400万円(0.3%)
- 5、「仕組みや制度、ルールづくり」は8年間で222万円(0.1%)

■特集:セカンドシティの協働環境

ー中核市・県内第2の都市との比較から「協働環境ー3つの領域と9つのポイント」

(1) 位置づけ(指針、条例、計画、評価)

- ポイント1 | 【指針・条例】だけでなく、【計画】【評価・報告】まで実施
- ポイント2 | 「自治会・コミュニティ組織」の【計画】まで策定

(2) 推進のための体制・環境

- ポイント3 | 協働推進の組織は「常設」で、かつ、その役割は「全庁的」に
- ポイント4 | 庁内組織&協働推進員&地域担当職員で担当を明確化
- ポイント5 | 拠点施設の整備は標準化(9/10市)、環境整備のポイントはソフトと仕組みへ
- ポイント6 | 協働の進め方を具体的に示す、ハウツー・ノウハウの蓄積と提供

(3) 協働の実践をうながす制度をどうつくっているか?

- ポイント7 | 自治を促し団体を育成する、補助・助成による資金提供は標準化
- ポイント8 | 協働提案制度は、全領域対象で、提案→協議→事業形態決定と予算化
- ポイント9 | お金以外の「資源提供」「マッチング」「コーディネーター」「顕彰」

■倉敷の協働を進めるためにー指針から計画・実践へー

お申込方法:ゆうちょ銀行へ払込取扱票に郵送先宛名を明記の上、頒価500円×冊数+送料100円を送金下さい。

ゆうちょから: 記号番号 01380-2-52014 名義 ぐらしきパートナーシップ推進ひろば

他行から: 店名(店番)一三九(139)、当座、口座番号 0052014 名義 ぐらしきパートナーシップ推進ひろば

※他行から振り込まれる時は必ず下の申込書をFAXして郵送先をお知らせください。

問合先: ぐらしきパートナーシップ推進ひろば office@kurashiki-hiroba.sakura.ne.jp 090-3616-8321(佐藤)

申込書: FAX 086-421-4637

お名前	お申込数 () 冊
送付先住所 〒	お電話
	Eメール